



鈴鹿の風

2011.5
第12号

「独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院」ニュース

<病院理念>

- 私たちは、国民に奉仕する立場から、政策医療である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野において、患者様本位で質の高い専門医療を提供します。
- 私たちは、充実した医療と健全な経営を心掛け、常に意識改革を怠りません。



外来管理診療棟(平成24年12月完成予定)

Contents

- | | |
|-------------------------|---|
| 1 ■ ごあいさつ | 大震災と病院整備 |
| 2 ■ トピックス
News | 毎日が勉強の臨床工学技士
院内美化感謝状授与の木村医師にインタビュー!! |
| 3 ■ 看護だより
療育通信 | 就職支援講座を開催
楽しい行事が盛りだくさん!! |
| 4 ■ 新人ナース紹介
平成オタクコラム | NHO鈴鹿病院へようこそ
プロ野球編5 |
| 5 ■ 新任者紹介 | |
| 6 ■ 地域医療連携室だより
お知らせ | 地域との「絆」を深める
「生き生き健康講座」の紹介 |
| 7 ■ 外来診察担当表／交通案内／編集後記 | |

大震災と病院整備

病院長 小長谷 正明

風薫る5月というもおこがましいほどに、時間の経過は早いもので、もう、今年も半ば近くが過ぎてしまいました。しかし、あの、3月11日の不気味な揺れが長く続いた午後と、その後のテレビ画面での大津波の衝撃は、昨日のこのように鮮烈に記憶しています。文字通り天変動地でした。

大津波に襲われ、壊滅的な被害を受けた病院の話を耳にするたびに、心が痛みます。直後には、当院にも被災地の患者受け入れの打診があり、準備を始めましたが、遠隔のここまで移送する状態には至っていません。重症心身障害や難病医療の病院もいくつか遭難し、中には、津波に逐われるようなタイミングで患者さんを避難させ、危機一髪だったという、同じ国立病院機構の病院もあります。本当に大変な状況でした。

天災を忘れないようにしましょう。それでも、やってきます。鈴鹿病院は河岸段丘の上にあるので、津波や水害は大丈夫、地盤も安定しているのですが、安心は禁物です。4年前の4月のある日曜日、重心や筋ジスの親の会の日に、突然大きな音と揺れがありました。亀山を震源とする震度5強の地震で、病棟でも天井が落ちたり、大きなガラスが割れました。幸い、患者さんも職員も無事でしたが、危険回避も避難も自分でできない患者さんがほとんどの、当院の特性を考えると、耐震構造の新病棟建築は一刻の猶予もできないと、思ったものです。

念願かなって、耐震強度6強の中央病棟は昨年春に完成しました。患者さんも職員もスムーズに新環境に慣れ、ほっとしています。一年前まで、敷地いっぱいには並んでいた、平屋の古い病棟での診療は、とうの昔のことに思えてきます。新しい職員には、もうその記憶さえもないと思うと、感慨無量です。

しかし、鈴鹿病院にはなお、築後40年の外来診療棟と第1病棟があります。医療の進歩はまさに日進月歩であり、そのための機器もどんどんと進んできています。古くて狭い診療スペースでは、標準的な装置も導入できない状態です。また、病院が効率よくよい医療をするためには、いろいろな機能をする部署がきちんと働かなければなりません。そのためのスペースもいります。まさに「新しい酒は新しい革袋に入れよ」の例え通りで、新しい診療棟を建築することにいたしました。

5月18日に、入札が行われ、建築は(株)大林組、電気工事は川北電気工業(株)、設備工事は(株)朝日工業社が、それぞれ落札し、早速工事にかかってもらうことになりました。メインの大林組は東京スカイツリーの建設をしています。工事は大きく3段階に分かれ、まず、看護師さんなどの更衣棟を中央病棟の東に建て、次いで旧看護学校やデイケア棟、機能と作業訓練棟などを取り壊し、それから診療棟の建築に入ります。3階建てで、総面積は8,600平方メートルです。1階は外来と薬局、検査、レントゲンなどで、患者さんの流れなどを重視した配置にしています。2階は病棟と手術室および中央材料室、3階は医局や医師当直室、事務室などの管理部門です。

MRIの導入やCTの更新など、機器の近代化とともに、電子カルテの採用など、病院のIT化を計り、文字通り21世紀にふさわしい障害者医療の場に、鈴鹿病院が脱皮できるようにします。平成24年秋には、新・診療棟を供用する予定にしています。もちろん、防災面の配慮も怠りなく設計しています。

またしばらく、病院敷地の内外に騒々しい日が続くことと思いますが、鈴鹿病院が21世紀の障害者医療をするにふさわしい場に脱皮するために、避けては通れないプロセスです。どうか、ご容赦の上、声援をお願い申し上げます。

毎日が勉強の臨床工学技士

臨床工学士 名越 貴子

先日「鈴鹿病院に入られて、もう1年経ちました?」と看護師さんに声をかけられました。「ああ、入職してもう1年経ったのか…」としみじみ感じている今日この頃です。

思い返せば昨年1月に鈴鹿病院に入職。業務内容は今までとは全く異なる分野で、毎日が勉強で新しい発見の連続でした。患者様は今まで接したことのない病態で、どうコミュニケーションをとればよいのか解らず手探り状態でした。そんな中、3月に中央病棟への引っ越しが行われました。右も左もわかってない状況の私はただひたすら指示されたことだけをこなしていくことが精一杯で、わけもわからないまま作業が終了したことが記憶に残っています。

その後、職場の環境にも慣れ、患者様と会話する機会も増え、自分自身に余裕ができてきました。当院ならではの筋ジスや神経難病の患者さん、その人達の病態にあわせたレスピレーターなど医療機器の勉強と技術の進歩などと、毎日が勉強というのは相変わらずですが、人工呼吸器をはじめとした多種多様な医療機器の点検・修理に取り組む一方、臨床ではIPV治療を実施し無気肺の改善に取り組んでいます。まだまだ未熟者ですが、日々精進してまいりますので、今後ともよろしくお祈りします。



News

院内美化感謝状授与の木村医師にインタビュー!!

ご自分でお持ちの絵画で院内に飾られ、院内美化にご尽力されたため、感謝状を受けられた、木村医師にインタビューをしました。

● 授与おめでとうございます、授与された喜びを一言お願いします。
趣味のような物ですが良い記念になりました。ありがとうございました。

● 鈴鹿病院に飾ろうと思ったきっかけなど教えてください。
よその病院に行ったときに絵が飾ってあるのがうらやましくて。ただなかなか私物を飾ることは心理的な壁があって踏み切れませんでした。始めは患者さんに見ていただくという動機でしたが、スタッフなど病院で働く人々にもみていただけて絵の話題が弾むので良かったと思っています。

● どんな絵画を集めていますか?
最初はファインアートや人物画です。リトグラフやシルクスクリーンと呼ばれている物を中心にヤフオークなどを利用して集めていました。その後は、アートフェアや、画廊に出入りするようになり若手の作家の肉筆画、あるいは有名作家の版画特に銅版画を好むようになりました。若い作家は成長が見届けられることや、直接あって話ができるのが魅力です。銅版画の魅力はやはり細かい線や緻密な表現です。インクの乗り具合もなんだか作品の個性になっています。

● 絵画に興味をもたれた理由や経緯があれば教えてください。
愛知県美術館の近くに住んでいて、以前から絵画に親しんでいました。現代アートの分野に気が付いてから、よりのめり込みました。

● お気に入りの作品を教えてください。
西1階病棟の入り口にある、くまの絵。「西洋文明のゆりかご」という意味深なタイトルです。

木村医師所有の絵画が外来等にたくさん飾ってありますので、病院へお越しの際はどうぞご覧ください。



看護だより

就職支援講座を開催

教育担当師長 櫻井 賀奈恵

去る2月14日“就職支援講座”を開催しました。この講座は、医療現場を離れている看護師のブランクを解消し、再就職を支援する研修です。今回で3年目となった講座には、再就職を目前に控えている方や子育てなどの理由で長期間離職している方が参加され、年齢も様々でした。

研修では、最近の看護の動向や医療安全の説明と看護技術の実施をしました。採血や点滴の練習では、人体モデルを使用しながら何度も繰り返し行い、参加者の皆さんは最初緊張していましたが直ぐに勘を取り戻し、スムーズに技を発揮していました。病棟見学では、実際の看護場面を見ることで看護実践を実感されたようです。

参加者からは、“実際にいろいろな実技をすることで現場にもどる不安が軽くなった”“この病院の看護を見て、すごいと思った”などの感想が聞かれました。今後は気軽に楽しく参加できるようにと、2ヶ月に1回の定期的な開催をし、潜在看護師の就職支援をしたいと思っています。



療育通信

楽しい行事が盛りだくさん!!

保育士 池上 亜矢子

昨年3月9日、新病棟に移転して早いもので1年が過ぎました。この1年、様々な思い出を作ることができました。みなさんにはどのような思い出が心に残っているのでしょうか？

東2階病棟(重症心身障害児・者病棟)では、春と秋はレクリエーションに出かけ、快い風に触れて暖かい太陽の光を浴びました。病棟の中には感じる事ができない穏やかな自然を体いっぱいを感じることで、リフレッシュすることができました。

夏祭りではアイスクリームの冷たさに驚きながらも、口の中でとろける甘い桃味でみんなと一緒に同じものを食べる喜びをともに分かち合いましたね。病棟スタッフのダンスやはっぴ姿を見て、暑い夏のひと時を過ごしました。クリスマス会ではサンタクロース姿の院長先生やスタッフを見て、寒かった冬を楽しみました。

毎日の療育活動では、新しい仲間とムーブメント・スヌーズレン・音楽を中心に明るい笑顔を見せてくれたり、楽しげな声を聞かせてくれたり、体もたくさん動かしました。

どれも今の病棟に移転してきてからの1年という短い期間で一人ひとりが作り上げたそれぞれの心の中に残っている思い出です。みなさんの心の中に1つでも多くの思い出を残せるようスタッフ一同、精一杯取り組んできましたが、一番思い出に残っているものは何でしょうか？私には順番をつけることができないくらい、大切に胸にしまっておきたいものばかりです。

新しい年度が始まりました。また今年もめぐる季節を体を感じられる行事や療育を計画していきますので、楽しみに待っていてください。



新人ナース紹介

NHO鈴鹿病院へようこそ

平成23年4月1日から新しく看護師の仲間になりました皆さんを紹介します。新採用者研修も終了しプリセプターに見守られ、先輩看護師から日々指導を受け頑張っています。

東1階病棟 北角里沙
先輩を見習いながら1日でも早く仕事を覚えて患者さんとじっくり関わられるように頑張っていきたい。

西2階病棟 清水早苗
患者さんひとりひとりに合わせた目線でじっくり看護を行っていきたい。

西1階病棟 小前田麗歌
患者さんの顔と名前を覚えるので精一杯の毎日ですが、少しでもはやく若葉マークをはずせるように頑張りたい。

東2階病棟 本郷麻衣
患者さんに癒されながら毎日頑張っています。とても暖かい雰囲気の中で働きやすく、優しい先輩方に囲まれて良い環境で仕事をさせていただきます。

西1階病棟 鈴木章久
実習と現場での違いがあり不安や戸惑いが強かった。しかし、先輩やプリセプターが優しく、少しずつ解消した。優しい先輩方の元で一人前の看護師になれるように頑張りたい。

平成オタクコラム プロ野球編5

神経内科部長 久留 聡

1990年(平成2年)は4月7日にプロ野球が開幕した。この日は医師国家試験の初日でもあり、僕は受験生の一人であった。セ・リーグ開幕ゲーム巨人—ヤクルト戦でその事件は起こった。3対1とヤクルトリードで迎えた8回裏、好投するギャオス内藤から篠塚が放った打球はライトポール際に飛んだ。ポールの内側であればホームランだが、惜しくも打球は外側にそれ観客の大歓声が嘆息にかわりかけたのだけれど…。何と審判の判定はホームラン!マウンド上でガックリとうなだれるギャオス内藤、野村監督必死の抗議もむなし判定は覆ることはなかった。世に言う‘篠塚疑惑のホームラン’である。この映像は現在YouTubeで確認することができるが、僕の判定ではファールである。この試合は結局巨人が逆転勝ちをおさめ、勢いに乗った巨人はこの年ブッチ切りで優勝した。勝負事にタラレバは禁物であるが、もしこの疑惑のホームランがなければ、巨人が開幕戦を勝利で飾ることもなく、その後の快進撃もなかったかも知れない。当時プロ野球の人気は盤石で、少年の憧れる職業のトップであった。しかし、90年代に入って雲行きが怪しくなり、プロ化されたサッカーの人気に押され、優秀な人材がどんどんメジャー・リーグへと流出し、リーグ再編問題でストライキが起こるなど、次第にプロ野球は輝きを失い人気に翳りが出るようになってしまった。1990年と言えばバブル終末期であり、皆が妙に浮かれ騒いでいる中で、何か居心地の悪い気分でいたのは僕だけではなくたように思う。バブルがはじけた直後はそれ程の深刻感はなく、狂躁状態に終止符がうたれて安堵した面もあったように記憶している。そして長い長い混迷の時代が始まるのである。つまり、この頃を境にプロ野球人気は下降線をたどり、景気が後退して日本に元気がなくなってしまったのだ。‘篠塚疑惑のホームラン’はその不吉な予兆であった。

新任者紹介



薬剤科長
小林 智晴

本年4月より薬剤科長として当院に勤務させていただいております。よろしくお願いいたします。

病院薬剤師の業務はここ数年で激変しております。院内の調剤業務が主であった時代から、チーム医療に主眼を置いた時代へと変化しております。具体的な事の一つとして、安心安全な医療を受けていただくためのチーム活動がありますが、そのチームにも積極的に参加しております。今後、なお一層、安心安全でかつより良い薬物療法を患者さまに提供するためにも、当院薬剤師がこのような諸活動に積極的に参加していく所存です。微力ではありますが、この点を踏まえ当院の薬剤科業務を考えていきます。



西2階病棟 看護師長
岡 祥子

平成23年4月1日付で愛知県の豊橋医療センターから赴任してまいりました。

重症心身障がい者(児)病棟の勤務は今回で2回目となります。

ですが、まだまだ経験不足です。西2階病棟スタッフとともに、よりよい看護を提供できるよう努力いたしますので宜しくお願いいたします。



庶務班長
能田 幸三

平成23年4月1日付で静岡県の静岡富士病院から赴任してまいりました能田(のうだ)です。自宅は名古屋市に住んでいますが、単身で院内宿に住んでいます。

何かと不慣れで迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願いいたします。



事務長
中村 彰

本年4月から事務長として豊橋医療センターから赴任してきました中村です。住居は、静岡県磐田市です。よく、何処ですかと

聞かれますのでジュビロ磐田と答えています。

赴任して、筋ジス等の第1次病棟整備工事が終わり中央病棟として運営、そして、外来管理棟・病棟等の第2次整備計画がスタートしています。

今後は、職員1人1人のご協力を得ながら、第2次整備計画を推進していき、最後に外構工事を行い病院建物整備の完成を目指していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



外来看護師長
小倉 典子

平成23年4月1日付で岐阜県の長良医療センターから赴任してまいりました。鈴鹿病院では平成24年度の外来診療棟の完成に向けて、準備が着々と進め

られているところです。私もその一員として参画していきたいと思ひます。

外来では、みなさまにぬくもりと、安心していただける看護が提供できるよう笑顔で元気よく、頑張っていきたいと思ひます。



経営企画係長
神谷 親男

4月1日、名古屋から鈴鹿病院へ向かう列車から見える鈴鹿の山々は、はるか昔の学生時代に山岳部の訓練登山で何度も訪れた懐かしい景色でした。

この地に赴任して鈴鹿病院の一員となることも何かの縁なのかもしれません。

本年度からは建物更新整備の後半が始まるということで、鈴鹿病院の完成形に立ち会えることを幸いと感じると同時に、今後数十年にわたって使用する設備物品調達等業務に対しての大きな責務を感じています。建物整備の道のりを登山に喩えれば、今は5合目でパーティの最後尾に加わった立場です。皆さんから鈴鹿病院の事を教えていただき、良く知るところから始めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室だより

地域との「絆」を深める

地域医療連携室係長 林 みどり

平成23年4月1日から地域医療連携室に配属になりました林です。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室の今年度の目標は、

- ① 質の高い医療を提供するために、常に患者様本位で相談支援を行う。
- ② 保健所・他の医療機関などと密接な連携体制を築き、地域医療へ貢献する。
- ③ 在宅療養を必要とする患者様が、自分らしく安心して生活できるように、退院を支援する。



を挙げています。

地域医療連携室に看護師が配属され、2年目となり看護の分野でも活躍が期待されつつあります。
そこで、

- ① 他部門や病棟との連携を強化し、長期入院患者の療養上の相談支援を行う。
- ② 退院時、在宅生活の調整や退院後も継続して相談できる支援や窓口として退院支援の充実を図る

等、鈴鹿病院での20年間の経験を生かして取り組みたいと考えております。

さらに、新外来管理棟の工事に伴い、地域医療連携室も新しくなる予定です。完成までに地域医療連携室の移転があり、皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、随時情報を提供してスムーズな利用ができるようにしたいと考えております。

お知らせ 「生き生き健康講座」の紹介

★第8回 生き生き健康講座★

Happy Summer

テーマ
暑い夏を乗り切る為に
-熱中症予防-

熱中症に
ならない為に
榎橋医長(内科)

夏バテしない
食事
岡村栄養管理室長
(栄養)

平成23年5月25日(水) 13:00~15:00 / 会場: 中央病棟3Fフールーム

入場は
無料です

夏バテ防止の
運動療法
白石運動療法主任
(リハビリ)

健康相談
&
よろず相談
窓口設置

会場
周辺図

問い合わせ先
独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院
TEL (059) 378-1321(☎) / FAX (059) 378-7083

毎回
このようなテーマで
開催しています。

入場無料で
どなたでも
参加できます。
次回の開催に参加
してみませんか。



外来診察担当表 (2011年5月1日 現在)

	月	火	水	木	金
神 経 内 科	小 長 谷	酒 井	小 長 谷 松 本	小 長 谷	久 留
内 科 (循 環 器 科)	奥 村 (循 環 器)	木 村	安 間 (循 環 器)	安 間 (循 環 器)	棚 橋 (循 環 器)
小 児 科	予 約	予 約	予 約	予 約	予 約
整 形 外 科		田 中(信) 午後(装具)			田 中(信)
リハビリテーション科					田 中(信)
歯 科	山 口		松 村	永 田	
皮 膚 科		高 間			

- ◆ 外来受付は8:30～11:00、診療開始は9:00～です。
- ◆ 歯科は身体障害者の方に限ります。
- ◆ 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越し下さい)。
- ◆ 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約下さい。
- ◆ 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。



交通案内

- ◆ JR「加佐登」駅より徒歩8分
- ◆ 東名阪「鈴鹿」I.C.より車8分
- ◆ 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- ◆ 三交バス(荒神山口行き/椿大神社行き)
「加佐登神社前」下車すぐ
- ◆ 鈴鹿市西部地域コミュニティバス
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ

◆ 発行

平成23年5月

独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501

三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号

Tel. 059-378-1321(代)

Fax. 059-378-7083

<http://www.hosp.go.jp/~suzukaww/>

編集後記

心地よい新緑の季節となりました。4月には新しい職員も増え、さらに生き生きとした鈴鹿病院となりました。

今後も鈴鹿病院の情報を届けていきたいと思えます。(横山尚子)

※写真は本人の許可の下、掲載しております。

